

あなたを忘れない。

海辺の町の、茅葺きの家。
そこに引き寄せられた五世代の女性たち。
遠い過去の約束が紡ぐ、かけがえない出会い。

せんぼん よしこ 第1回監督作品

赤い鯨と白い蛇

香川京子 浅田美代子 宮地真緒 坂野真理 樹木希林

製作総指揮:奥山和由 脚本:富川元文

エグゼクティブプロデューサー:井川幸広、林田洋 企画プロデューサー:岡部英紀 プロデューサー:中林千賀子
撮影:柳田裕男 (J.S.C.) 照明:市川徳充 録音:尾崎裕 音楽:山口岩男 編集:高橋幸一 監音:小松哲人 美術:古谷美樹
衣裳:宮本まさ江 スクリプター:赤澤環 助監督:宮崎曉夫 制作担当:市川幸嗣
企画:チームオウキワ クリーク・アンド・リバー社 制作協力:東北新社クリエイツ 制作:ティー・オー・ビー
製作:クリーク・アンド・リバー社 東北新社 配給:東北新社クリエイツ・ティー・オー・ビー 宣伝:ムワイオラ
2005年 日本 カラー 102分 ワイドサイズ DTS-SR ©2005 AS7プロジェクト

<http://www.asproject.jp>





「私が忘れたら、あの人は二度死ぬことになるのよね・・・。」

老境を迎えた雨見保江は、孫娘・明美に連れられて息子夫婦の家に向かう途中、まるで引き寄せられるように、かつて戦時中に疎開していた館山の古い茅葺きの家を訪れた。そこには、この家の持ち主である女性・光子が、小学生の娘と二人、姿を消した夫を待ちながら暮らしていた。まもなく、詐欺まがいのセールスをして逃げ回っている美土里も現れる…。

「赤い鯨と白い蛇」は、世代も生き方もまるで異なる女性たちの出会いと別れを、深い慈しみを込めて描いた珠玉の名編である。監督は、テレビの名ディレクターとして数々の名作ドラマを世に送り出してきたせんぼんよしこ。本作でせんぼん監督は齢70を越えて映画に初挑戦した。

海辺の町の、古い茅葺きの家に集った五世代の女性たちは、そこで互いの人生を交差させながら、自分の胸の中の本当の想いを、今一度見つめ直していく。「私のことを忘れないでくれ」。青年士官と交わした少女時代の約束に想いを馳せる保江。今や日本の人口の4分の3が戦争を知らない世代であり、その記憶も徐々に薄れつつある。この想いは世代から世代へと受け継がれ、新しい時代を切り拓いていくことだろう。

せんぼんよしこ初監督作品を見事に奏でる女優たち。

今年78歳になる、せんぼん監督の「今こそ伝えたい」という熱い想いに応えて、オリジナル脚本を執筆したのは『うなぎ』などの名脚本家・富川元文。そして『ハチ公物語』『その男、凶暴につき』などの奥山和由が、製作総指揮を買って出た。スタッフには若手精鋭が集結、音楽・山口岩男による温かなウクレレの調べは画面に映えわたっている。そして本作を何より特長づけるのは女優たちである。劇中に5人の女性しか登場しないという独特の世界で、それぞれの世代を代表し、存在感あふれる演技を披露する。まず、若き日に黒澤明、小津安二郎、溝口健二など名だたる巨匠たちの作品に出演、現在も『阿弥陀堂だより』などで日本映画界を代表する名女優、香川京子。『半落ち』『下妻物語』など個性派女優として映画界になくはならない樹木希林。『釣りバカ日誌』シリーズでもおなじみの浅田美代子は、女優として新境地を開拓している。一方、NHK朝の連続テレビ小説『まんてん』などに出演の若手女優・宮地真緒と、本作がデビューとなる子役の坂野真理の新鮮な演技も印象的だ。

「あなたを忘れない」。ここにまたひとつ、忘れられない名作が誕生した——。

赤い鯨と白い蛇

出演：香川京子 浅田美代子 宮地真緒 坂野真理 樹木希林

製作総指揮：奥山和由 脚本：富川元文 監督：せんぼんよしこ

エグゼクティブ・プロデューサー：井川幸広 林田洋 企画プロデューサー：岡部英紀 プロデューサー：中林千賀子

撮影：柳田裕男(J.S.C.) 照明：市川徳充 録音：尾崎聡 音楽：山口岩男 編集：高橋幸一 監音：小松将人

美術：古谷美樹 衣裳：宮本まき江 スクリプター：赤澤環 助監督：宮崎暁夫 制作担当：市川幸嗣

企画：チームオクヤマ クリーク・アンド・リバー社/制作協力：東北新社クリエイツ/制作：ティー・オービー

製作：クリーク・アンド・リバー社 東北新社/配給：東北新社クリエイツ+ティー・オービー 宣伝：ムヴィオラ

2005年/日本/カラー/102分/ヴィスタサイズ/DTS-SR ©2005ASプロジェクト <http://www.asproject.jp> Thanks to TM

11月25日(土)より
新春ロードショー!

岩波ホール

03-3262-5252

<http://www.iwanami-hall.com/>

特別鑑賞券 1,500円

当日料金(税込) 一般 1,800円/シニア・学生 1,500円

ペア前売券(お二人様分・岩波ホール窓口のみ) 2,900円

※岩波ホールチケットガイド[ビル1F]

都内プレイガイドなどで好評発売中

上映時間	月～金	11:30	2:30	6:30
(自由席定員制/入替制)	土・日・祝・1/3～5	11:30	2:30	5:30

●地下鉄(都営三田線・新宿線/半蔵門線)神保町駅・A6出口すぐ
JR(中央線)水道橋またはお茶の水駅・下車徒歩12分●神保町交差点角

●12月30日(土)～1月2日(火) 休館